



## ・・・京都 1200 年の歴史・・・

794年（皆さんご存知、<sup>7</sup><sup>9</sup><sup>4</sup>ウグイス平安京です！）の建都から約1200年の長い歴史を持つ京都。きっと多くの皆さんが1度は訪れたことがあると思いますが、京都の魅力は一体どこだと思いませんか？

“やっぱり金閣寺や祇園祭（毎年7月1日から31日）などの観光でしょ！” “京町家とか伝統的で趣のある町並みもいいですよ！” “嵯峨鳥居本や鴨川のような自然もいいですね！” などなど、たくさんの声が聞こえてきそうです。

ここでは、「歴史的な町なみを活かしたまちづくり」について紹介したいと思います。

## 花見小路通り

昔の日本にタイムスリップしたような町なみ。ここは京都市の祇園町を南北に貫く花見小路です。ここ花見小路では、祇園の情緒ある雰囲気をもっと多くの人に味わえるよう町なみが再整備されました。ここでは、毎年4月1日から30日までの1ヵ月間「都をどり」が開催されます。「都をどり」は、明治2年の東京遷都で衰退した京都の繁栄策として明治5年の京都博覧会の余興で企画されたのが始まりで、これが大変好評となり今では年中行事となっているそうです。祇園甲部歌舞練場で開催されるそうですので、是非一度足を運んでみてはいかがでしょうか？

こちらが都をどりです！



普段の花見小路通りの写真が無いのが残念ですが・・・、道路照明は周辺の景観に調和されたものを、また、歩行者と自動車が共存しているのが見て取れます。歴史的な町なみでありながらも現代の車社会も受け入れる。今の福島県だけでなく、もしかしたら全国的な課題なのではないでしょうか？



都をどりが開催される祇園甲部歌舞練場

注) こちらの写真(2枚)の複写・転載を禁じます。



看板や照明は「都をどり」の期間だけ設置されます。常に設置されていると「？」と感じると思いますが、期間限定ならお祭の雰囲気も味わえていいですよ(^-^).

# 先斗町

鴨川の護岸工事が1670年に完成し、新しい堤防ができると、急速に新しい町なみができていきました。憩いの場・交流の場として評判が定着し、都の人だけでなく、様々な国の旅人も足を止めるようになったのが先斗町のはじまりといわれています。

さて、ここで問題です！

先斗町の“ぼんと”にはどんな意味があるのでしょうか？

ヒント：日本語ではありません！

答えは・・・みなさん調べてみませんか？

いっその事答えを探しに、先斗町へ行ってみるものいいかもしれませんね！?(答えは次号に掲載します)



ところで、先斗町に歌舞練場があるのはご存知ですか？

この歌舞練場は1927年に完成し、1930年から「鴨川をどり」が上演(5月1日から24日)されるようになりました。左の写真に見える舞妓さん、稽古に行く途中でしょうか？

ここでちょっと真面目な話。両側の写真を見てください。ただの電柱と電線のように・・・。



この電柱はとても長く、電線は屋根の高さよりも高い位置に配線されているのです。これならゴチャゴチャの電線もあまり気になりませんよね! ?特に、夜間は目に入らないと思いますよ!!

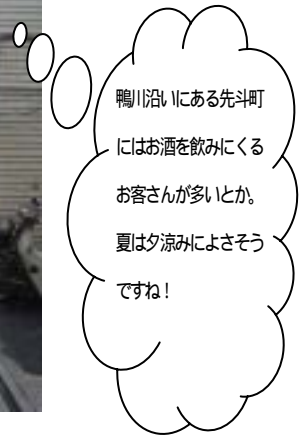




先斗町歌舞練場



先斗町歌舞練場



鴨川沿いにある先斗町にはお酒を飲みに来るお客さんが多いとか。夏は夕涼みによさそうですね！

## ～雪・花・まちを繋ぐ～

雪の回廊“磐梯吾妻スカイライン”。今年は、例年より2週間ほど早く開通しました。お花見の時期ともぴったりということもあり、県内外から訪れたたくさんのお客さんの笑顔で県内はにぎわいを見せています。

今年もたくさんのお花見客でにぎわった福島市の“花見山”。シーズン中は駅前広場などまちなかで、さまざまなイベントが催され、地域のみなさん、大活躍でしたね！

これから夏に向け、県内各地でいろんなイベントが開催されます。これからも地域のみなさんが活躍されることを楽しみにしています！！



花見山



県庁からみた花見山



4月8日に再開通したスカイライン

### 磐梯吾妻スカイライン通行料無料に！

6月5日(月)6時から7月11日(火)19時までの37日間、下記の区間に限り無料で走行できます！

高湯料金所～不動沢橋

土湯料金所～浄土平

<下記の点にご注意下さい！>

浄土平の駐車料金は有料です。

上記の2区間以外は、防災工事を行いますので、通り抜けできません。

ご了承願います。



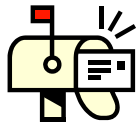
## トピックス

### \* まちの顔 お待ちしております！ \*

あなたのまちの絶景やお気に入りの町なみ、また各種イベントでのひとコマなど、あなたが見つけた“まちの顔”の写真をまちづくり推進レポートに掲載しませんか？

みなさんの投稿をお待ちしております。

<投稿方法> まちづくり推進グループ宛てに、**1.住所、2.氏名、3.電話番号、4.職業、**



**5.写真の撮影場所**(イベント等であれば内容が分かる資料も添付下さい)を明記の上、**メール**や**郵送**で投稿下さい。(当方で、選考の上掲載させていただきます。)

なお、投稿いただいた写真等は返却致しませんのでご了承下さい。

### \* まちづくりの情報はこちら！ \*

まちづくり推進グループの**ホームページ「うつくしま、まちづくり情報発信局」**を開設しました！まちづくりに関する情報が掲載されていますので、皆様、是非、アクセスしてみてください。

**検索サイト**で、**うつくしま、まちづくり** を条件に検索していただくか、

**URL** <http://www.pref.fukushima.jp/machi/> からご覧になれます！

## 編集者ひとりごと



桜の季節もあっという間に過ぎ去り、新緑のきれいな季節になりましたね(^-^)/梅雨に入る前のこの時期は、絶好のドライブ月間(!?)です！新緑のきれいな山々、今が見頃のつつじ、ちょっと疲れを感じたら温泉へ！などなど、見どころいっぱいの福島県。この週末は、癒しの旅に出かけてみませんか？きっと、心身ともにリフレッシュできますよ！

## 編集後記

「うつくしま、まちづくり推進レポート」は、今回20回目の発行を迎えることができました。ご愛読いただいている皆様に心から感謝致します。これからも皆様と一緒に、より充実したものにしていきたいと思っておりますので、ご意見、ご感想、ご質問などございましたら遠慮なくお寄せ下さい。

**メールマガジン（無料）**の申し込みをご希望される方は、**1.団体会社名、2.氏名、3.メールアドレス、4.電話番号等**（送信エラーの際のご連絡のため）、よろしければ、**5.性別、6.年齢**を記入の上、**まちづくり推進グループのメールアドレス**まで希望する旨ご連絡下さい。

登録された方には、レポートの更新情報などをメールにてご案内いたします。

#### 【発行元】

福島県土木部都市領域まちづくり推進グループ  
〒960-8670（住所記載不要）  
TEL 024-521-7510  
FAX 024-521-7956  
e-mail [machizukuri@pref.fukushima.jp](mailto:machizukuri@pref.fukushima.jp)